



SGホールディングスグループ
新中期経営計画

SGH Story 2024

2022年3月30日

SGホールディングス株式会社

Chapter. **1**

02 - 08

中期経営計画「Second Stage 2021」振り返り

Chapter. **2**

10 - 14

SGホールディングスグループ新長期ビジョン

Chapter. **3**

16 - 32

新中期経営計画「SGH Story 2024」

Chapter. **4**

34

参考資料

中期経営計画「Second Stage 2021」の位置づけ

First Stage 2018
リソースの強化
2016年4月～2019年3月

Second Stage 2021
経営基盤の強化
2019年4月～2022年3月

Third Stage 2024
持続的成長へ
2022年4月～2025年3月

中期経営計画「Second Stage 2021」の振り返り ～経営目標～

(億円)	2019年3月期	2022年3月期			
	実績	中期計画	見込み <small>(2022年1月28日時点 業績予想)</small>	2019年3月期比	中期計画比
営業収益	11,180	12,130	15,200	136.0%	125.3%
営業利益	703	740	1,390	197.7%	187.8%
営業利益率	6.3%	6.1%	9.1%	+2.8pt	+3.0pt
親会社株主に 帰属する 当期純利益	434	455	960	221.2%	211.0%
EBITDA	913	1,060	1,690	185.1%	159.4%

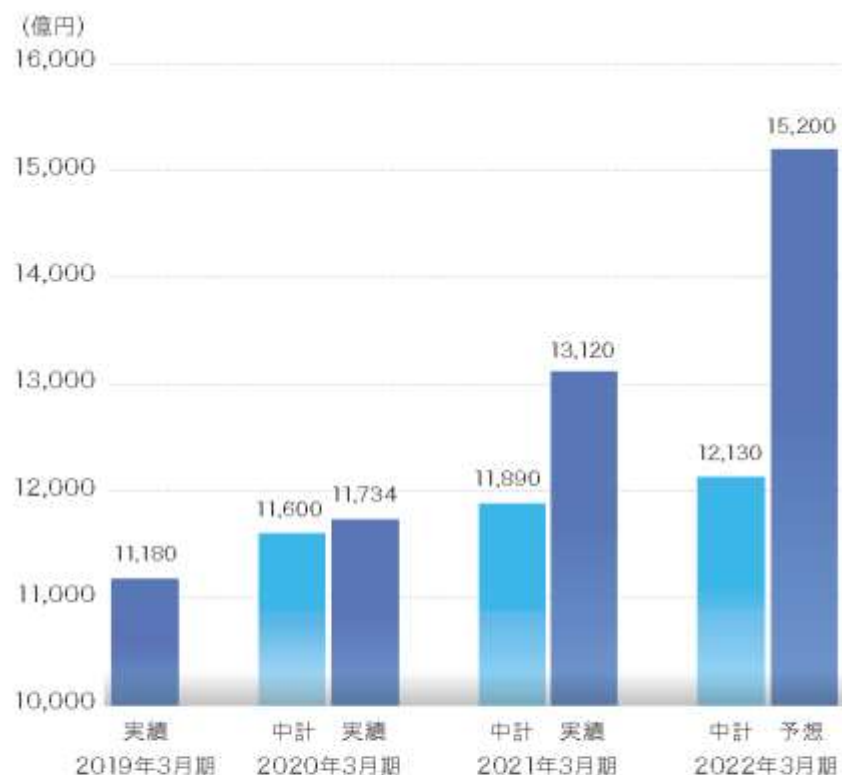
※億円未満切り捨て

中期経営計画「Second Stage 2021」の振り返り ～経営目標～

■ 現中計の営業収益・営業利益の推移

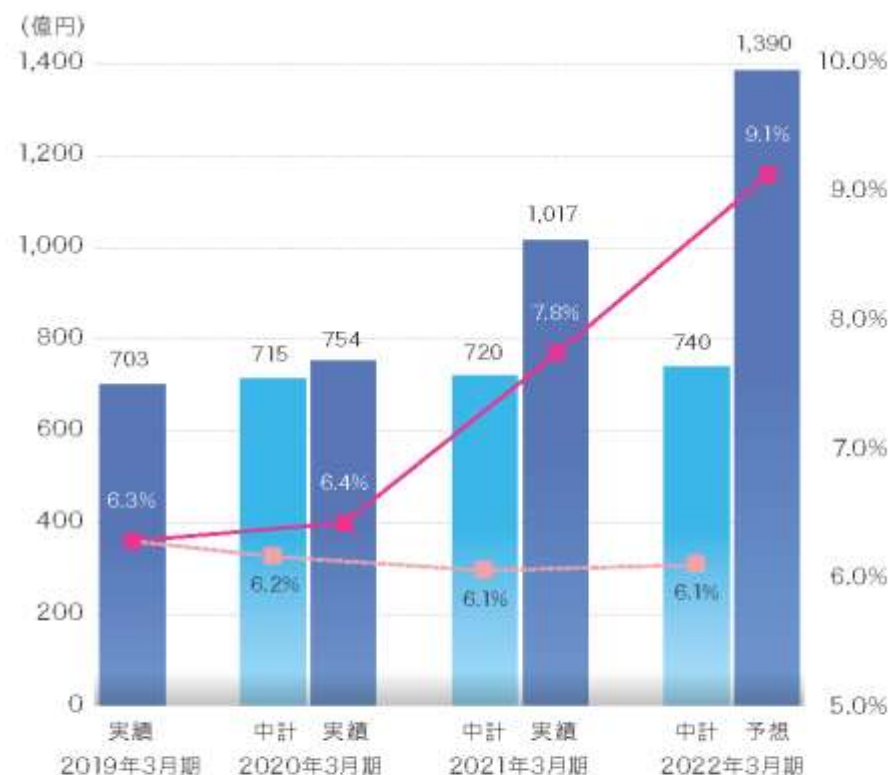
【連結営業収益】

■ 当初中計 ■ 実績・予想



【連結営業利益・利益率】

■ 当初中計利益 ■ 当初中計利益率
■ 実績・予想利益 ■ 実績・予想利益率

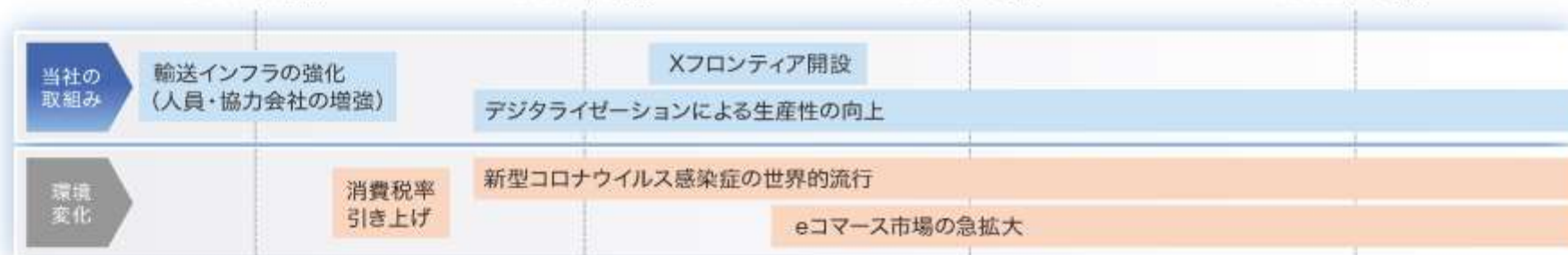
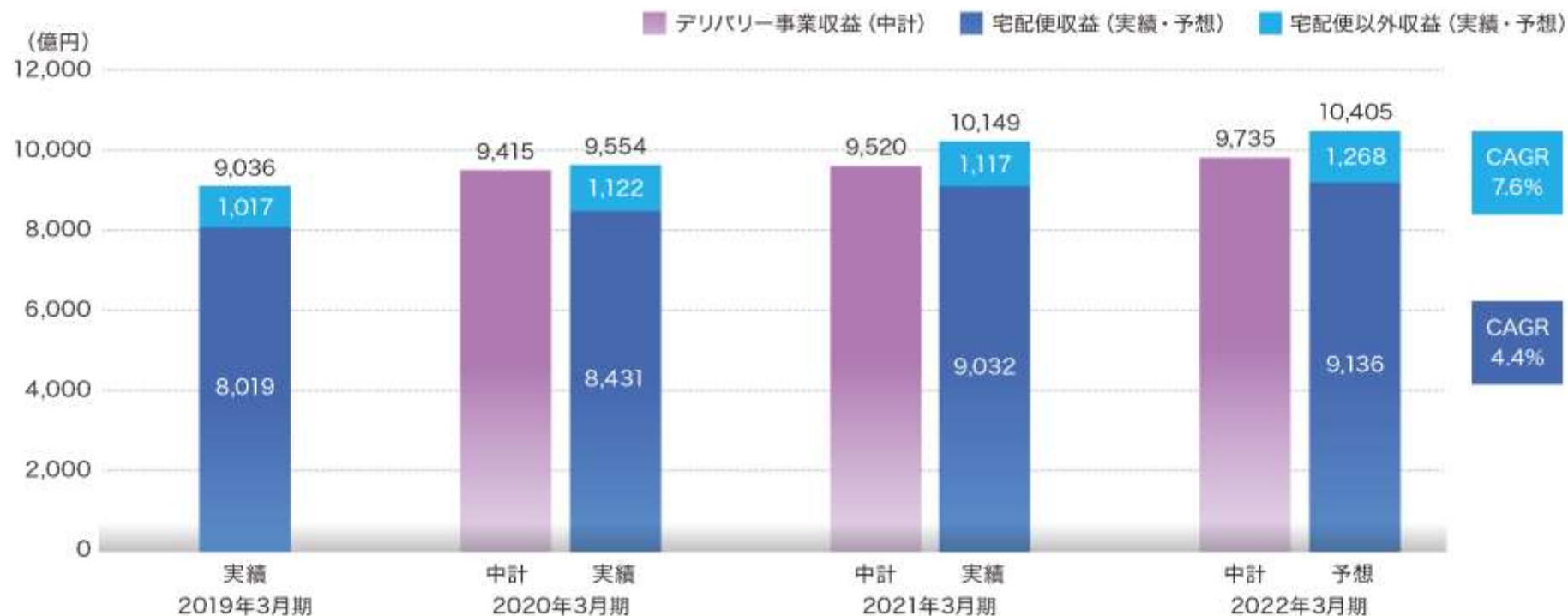


※億円未満切り捨て

※2022年3月期の予想は、2022年1月28日に開示した業績予想

新中期経営計画「Second Stage 2021」の振り返り ～経営目標～

■ デリバリー事業の業績推移(宅配便・宅配便以外)

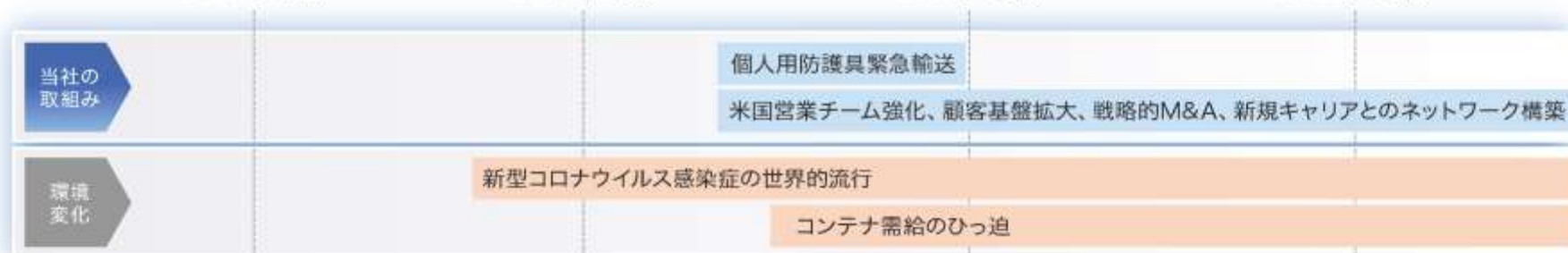


※億円未満切り捨て

※2022年3月期の予想は、2022年1月28日に開示した業績予想

新中期経営計画「Second Stage 2021」の振り返り ～経営目標～

■ ロジスティクス事業の業績推移(エクスポランカ・エクスポランカ以外)



※億円未満切り捨て

※2022年3月期の予想は、2022年1月28日に開示した業績予想に基づいて算出

中期経営計画「Second Stage 2021」の振り返り ～経営目標～

■ 3カ年の投資実績

大型物流センターの建設や環境対応車の導入などの積極的な投資によって、経営基盤を強化



投資総額(3カ年累計) (億円)	計画	見込み
		1,590
施設投資	825	1,284
車両投資	335	400
IT投資	350	182
その他	80	111

※億円未満切り捨て

中期経営計画「Second Stage 2021」の総括

■ 「Second Stage 2021」総括

定量

- 2022年3月期は営業収益 1兆5,200億円、営業利益 1,390億円の見込み
- 取扱個数14億個突破
- エクスポランカ営業収益3,112億円、営業利益328億円の見込み
- 自己資本比率が50%を突破
- EBITDAは当初計画から59%増加（2022年3月期着地予想1,690億円）

定性

- Xフロンティアの稼働
- GOAL[®]、TMSなどをはじめとしたソリューションの提供
- グループ従業員のエンゲージメント向上
- DX銘柄、GPIF採用ESG指数の全構成銘柄に選定
- CDPの最高評価Aリストに選定
- D&I Award 2021でベストワークプレイスに認定

9カ年で目指した経営目標は、前倒し（6カ年）で達成

※2022年3月期の予想は、2022年1月28日に開示した業績予想に基づいて算出

Chapter. **1**
02 - 08

中期経営計画「Second Stage 2021」振り返り

Chapter. **2**
10 - 14

SGホールディングスグループ新長期ビジョン

Chapter. **3**
16 - 32

新中期経営計画「SGH Story 2024」

Chapter. **4**
34

参考資料

経営環境の変化

■ 経営環境の変化



社会・経済環境の変化は更にスピードを増していく

SGホールディングスグループの新長期ビジョン

2030年度に向けた中長期ビジョン



SGホールディングスグループの新長期ビジョン

SGホールディングスグループ SGHビジョン2030

Grow the new Story.

新しい物流で、新しい社会を、共に育む。

いま、厳格な未来は容赦なく問いかける。
 持続可能な社会をどう創りだしていくのか。
 お客様は、社会は、新たな成長のストーリーを
 どう生みだしていくのか。
 私たちは、イノベーションを起こし、
 社会に必要とされ続ける物流を創ることに挑みます。
 業界の枠を超える多様なパートナーと共に力を合わせて、
 そして、物流の変革の先に、
 未来につながる価値の創出を目指していく。
 希望を分かち合える新たな“物語り”を、共に育むために。



「Story」は、SGHに属していません。
 「BOM」は、SAP、SAPの準拠であり、「Business」「Social」「Smart」
 「Blue」「Innovation」など「S」から始まる言葉や「P」と
 私たちが大切にしている言葉を示しています。

SGホールディングスグループの新長期ビジョン

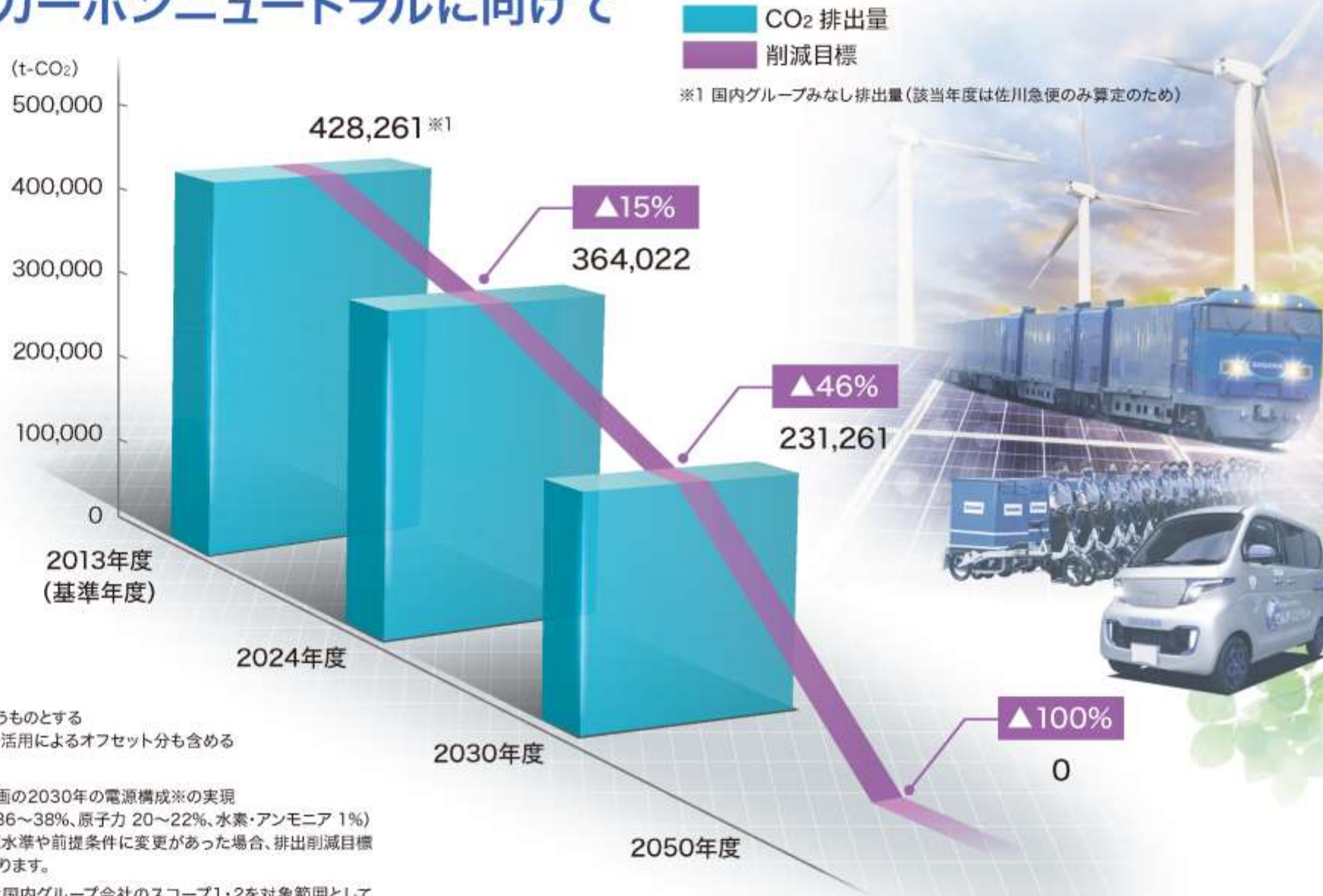
2030年度までの成長イメージ

- ▶▶ 宅配便は事業基盤として市場成長を見据え、引き続き成長を目指す
- ▶▶ 宅配便以外のビジネス拡充を成長エンジンに、企業規模拡大を図る



SGホールディングスグループの新長期ビジョン

2050年カーボンニュートラルに向けて



※削減水準と前提条件

◆削減水準

- ・日本の排出削減目標に沿うものとする
カーボン・クレジット等の活用によるオフセット分も含める

◆前提条件

- ・第6次エネルギー基本計画の2030年の電源構成※の実現
(※非化石 59%:再エネ 36~38%、原子力 20~22%、水素・アンモニア 1%)
社会情勢により国の削減水準や前提条件に変更があった場合、排出削減目標を再検討する可能性があります。
- ・バウンダリ(対象範囲)は国内グループ会社のスコープ1・2を対象範囲としています(海外グループ会社は順次対応を検討)

Chapter 1

02 - 08

中期経営計画「Second Stage 2021」振り返り

Chapter 2

10 - 14

SGホールディングスグループ新長期ビジョン

Chapter 3

16 - 32

新中期経営計画「SGH Story 2024」

Chapter 4

34

参考資料

新中期経営計画

「SGH Story 2024」

基本方針

持続可能な成長を実現する
次世代の競争優位性創出

2025年
3月期
計数目標

営業収益	16,500億円
営業利益	1,600億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,050億円

基本方針

持続可能な成長を実現する次世代の競争優位性創出

重点戦略

総合物流
ソリューション
(GOAL[®])
の高度化

- ① 脱炭素をはじめとした社会・環境課題解決に向けたサービスの推進
- ② TMS・3PLネットワークの拡充と周辺ソリューションの高度化
- ③ 国際・海外向けサービスの強化
- ④ 宅配便のサービス向上と効率化による収益性向上

競争優位創出に
つながる
経営資源の拡充

- ⑤ アライアンスを含めた国内外輸配送ネットワークの強化
- ⑥ 人的資本への投資及びエンゲージメントの向上
- ⑦ DXへの投資による競争優位の創出
- ⑧ オープンイノベーションなどによる新たな価値の創造

ガバナンスの
更なる高度化

- ⑨ グローバル化に対応したガバナンスの構築
- ⑩ コンプライアンスの継続的な高度化

1

脱炭素をはじめとした社会・環境課題解決に向けたサービスの推進

社会・環境対応サービスの推進

事例) スマート・インポート[®]



国内物流倉庫を通さないダイレクト納品で
輸送距離を短縮しCO₂削減へ

事例) タウンサポートサービス



貨客混載
(地域インフラ活性化)

見守りサービス
(高齢化)

脱炭素へのグループの取組み



EV車両への
切り替え



再生可能エネルギー
施設の開発・導入

2

TMS・3PLネットワークの拡充と周辺ソリューションの高度化

顧客基盤を強みに物流市場全体へ

物流市場 **24兆円**



ソリューション提案力の強化

提案の質とスピード向上



3PLの競争優位強化

最新マテハン
(省人化・効率化)

データ分析
(生産性改善)

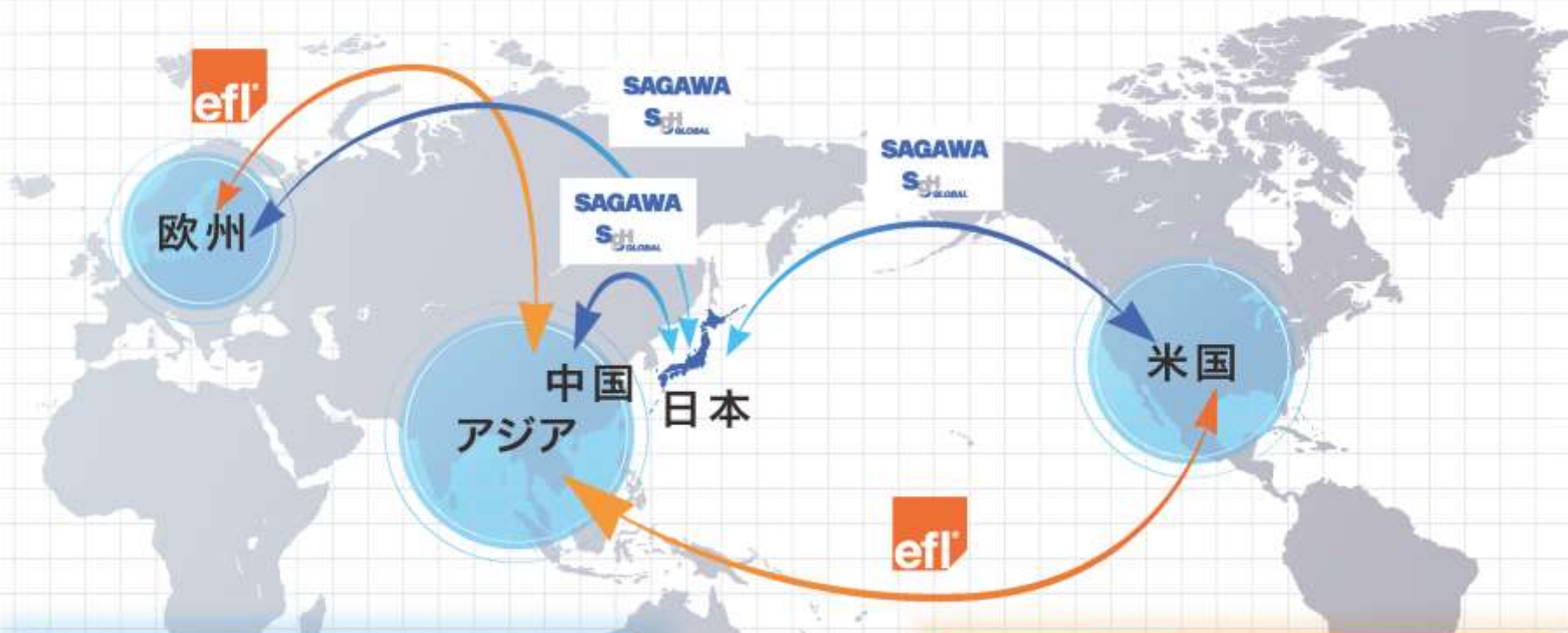
プラットフォーム化

主要消費地への
好アクセスエリアへ
自社物件拡大



3

国際・海外向けサービスの強化



SAGAWA SgH GLOBAL ←→

日本発着貨物の獲得強化

- 海外通販
- 国際TMS
- 国際エクスプレス

efi ←→

取扱貨物量の拡大

- 新規レーン拡大
- 既存顧客のシェア拡大

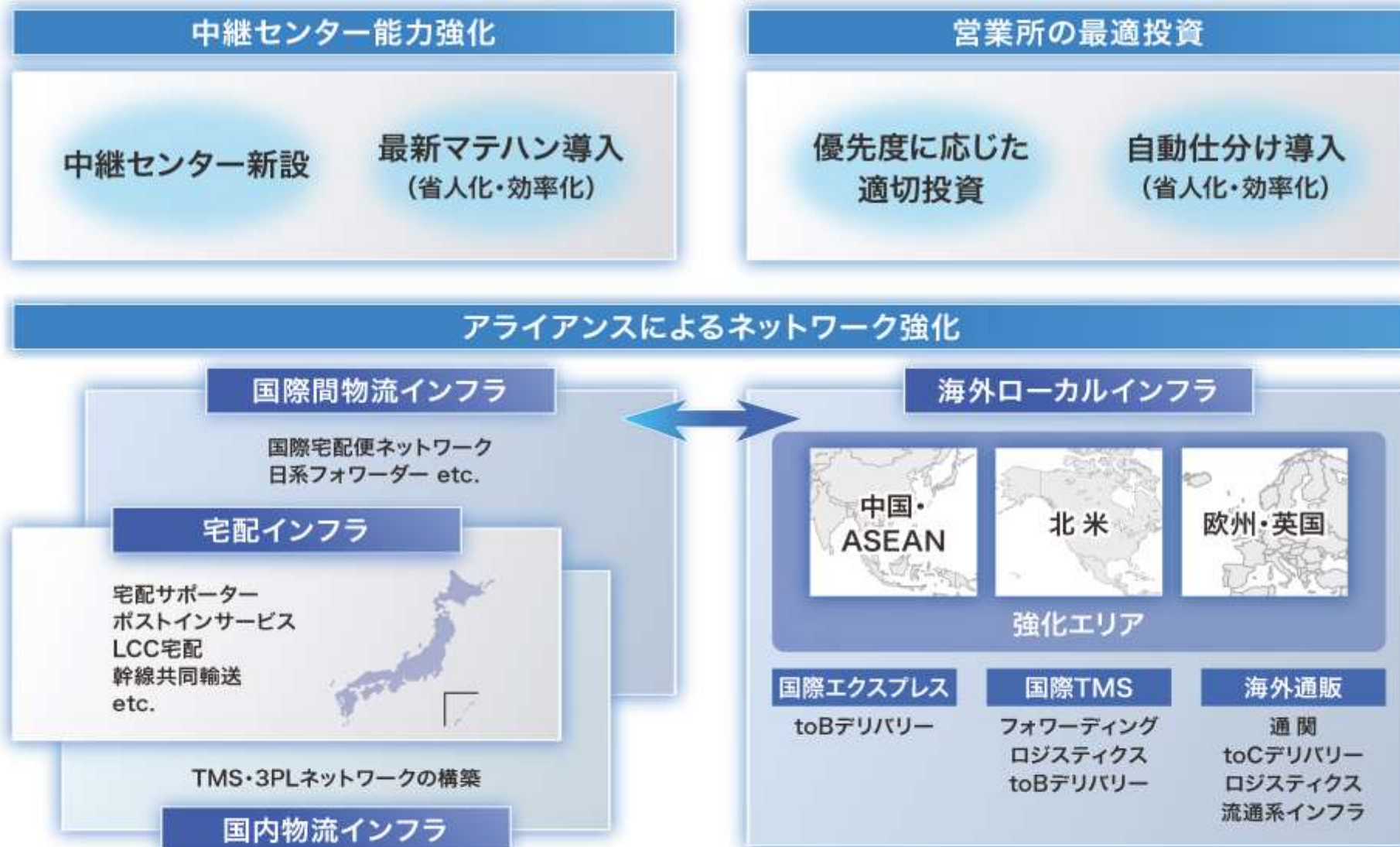
4

宅配便のサービス向上と効率化による収益性向上

DXの取組みによる業務効率化(例)



アライアンスを含めた国内外輸配送ネットワークの強化

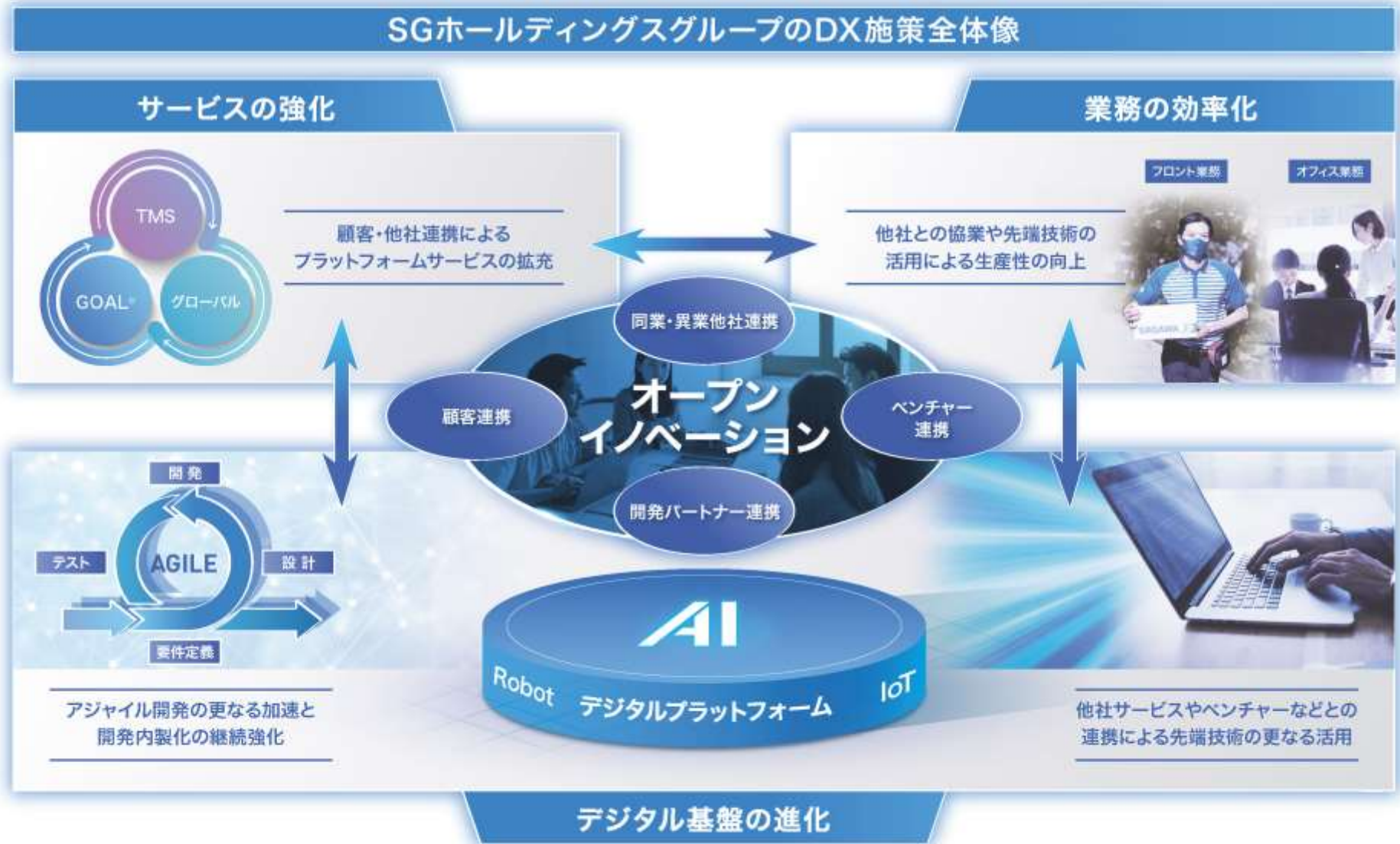


人的資本への投資及びエンゲージメントの向上



7

DXへの投資による競争優位の創出



8

オープンイノベーションなどによる新たな価値の創造



新中期経営計画 経営目標

(億円)	2022年3月期	2025年3月期	
	見込み <small>(2022年1月28日時点実績予想)</small>	中期計画	2022年3月期比
営業収益	15,200	16,500	108.5%
営業利益	1,390	1,600	115.1%
営業利益率	9.1%	9.6%	+0.5pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	960	1,050	109.3%

※億円未満切り捨て

新中期経営計画 経営目標(セグメント別計数)

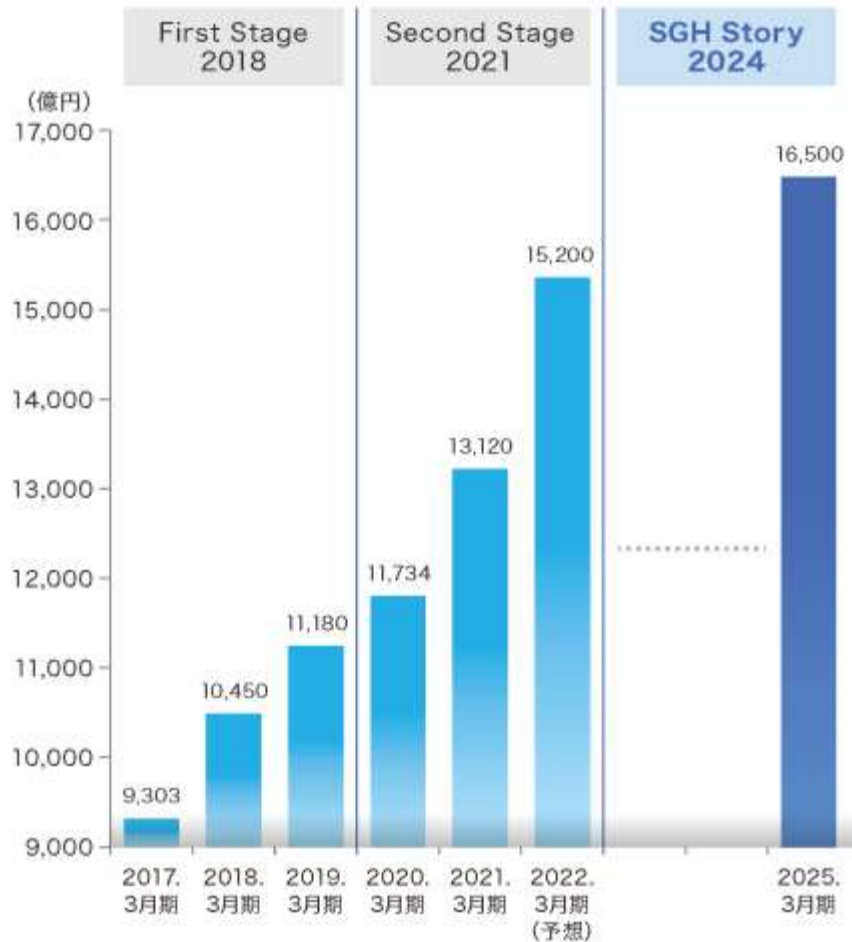
(億円)		2022年3月期	2025年3月期	
		見込み (2022年1月29日時点業績予想)	中期計画	2022年3月期比
営業収益	デリバリー	10,405	11,240	108.0%
	ロジスティクス	4,075	4,500	110.4%
	不動産	135	150	111.1%
	その他	585	610	104.3%
営業利益	デリバリー	890	1,120	125.8%
	ロジスティクス	370	370	100.0%
	不動産	70	60	85.7%
	その他	40	40	100.0%
	調整額	20	10	50.0%

※億円未満切り捨て

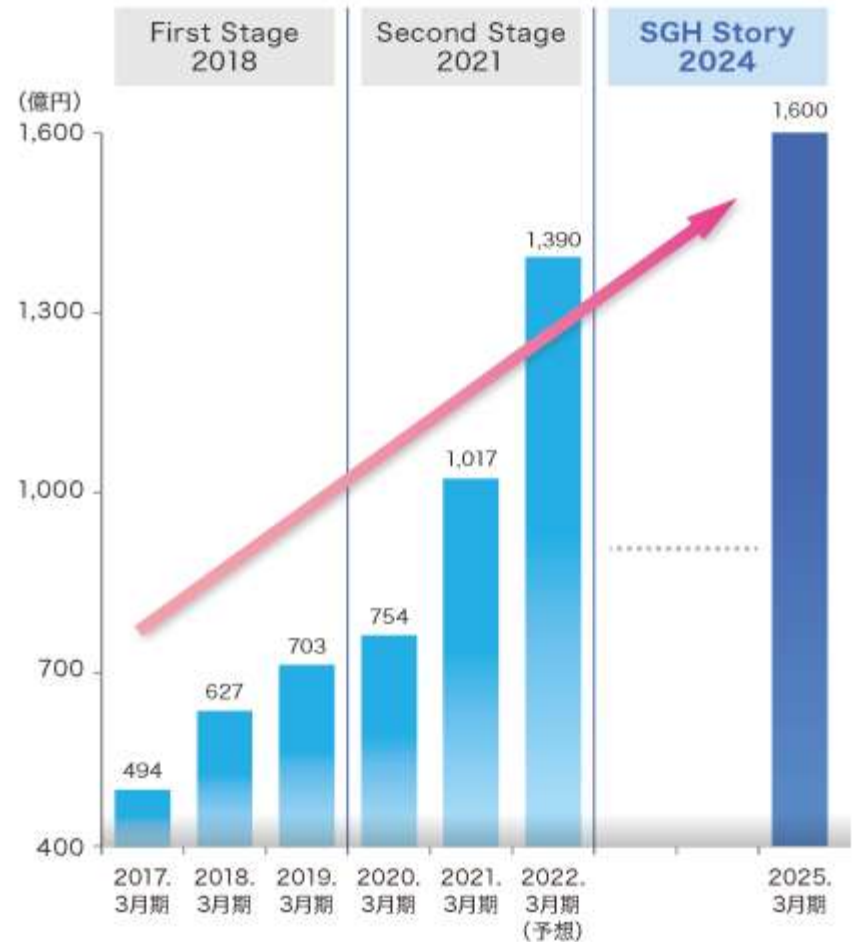
新中期経営計画

■ 連結業績

【営業収益】



【営業利益】



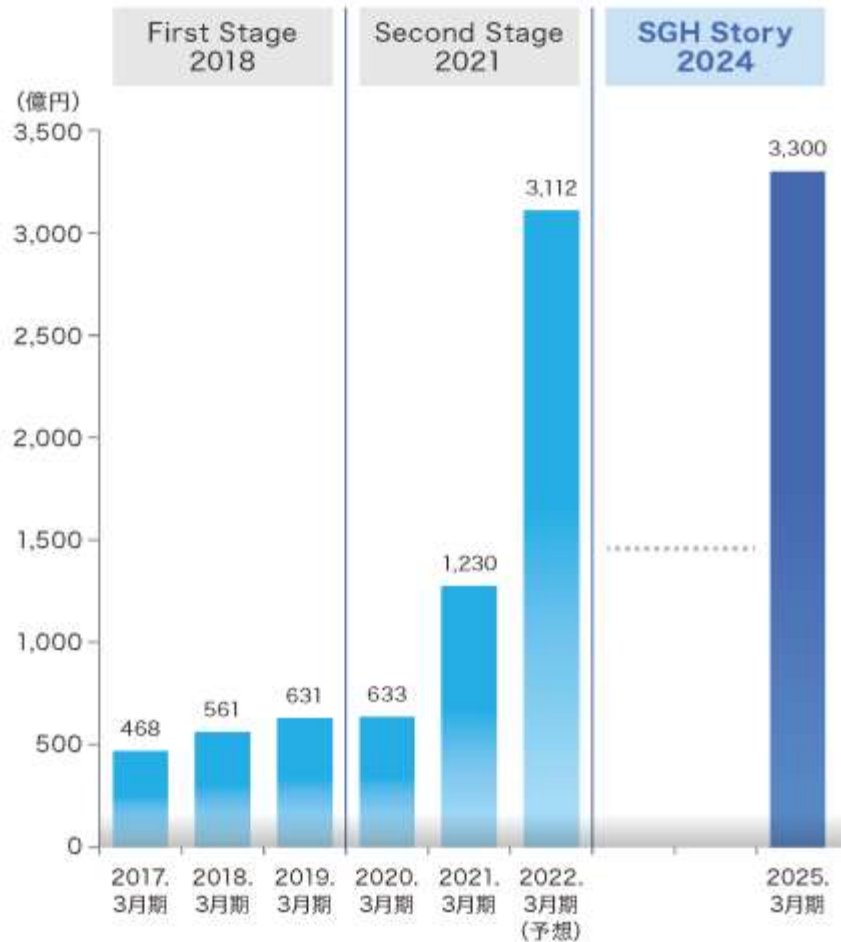
※億円未満切り捨て

※2022年3月期の予想は、2022年1月28日に開示した業績予想

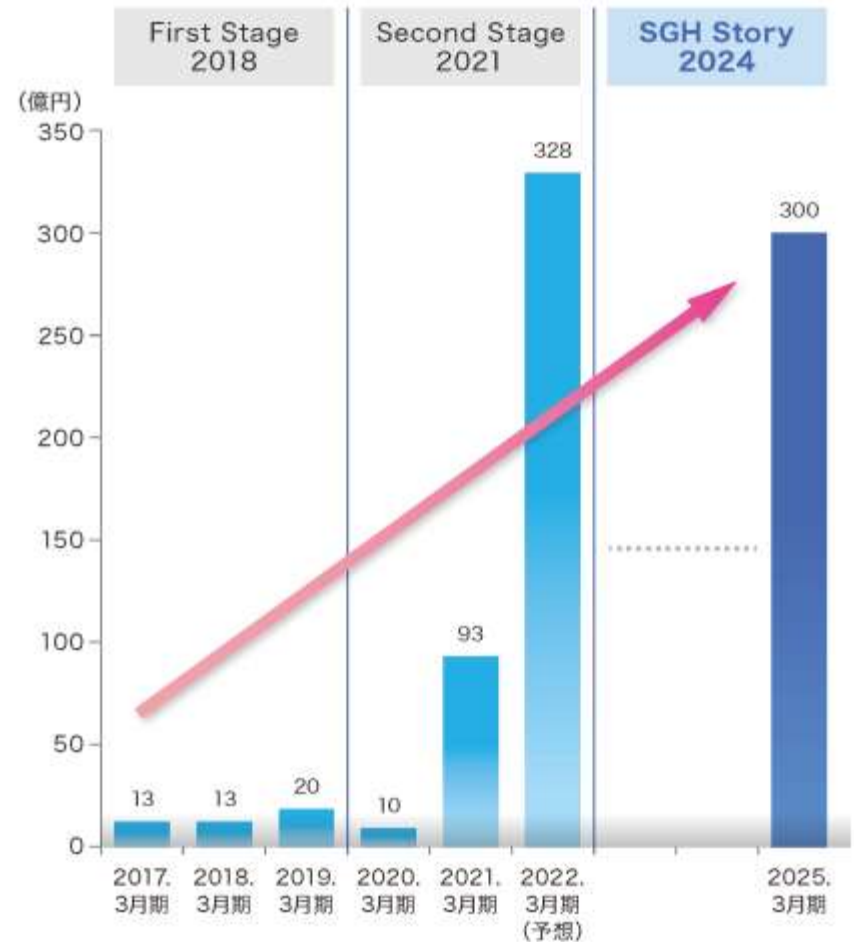
新中期経営計画

■ エクスポランカ業績

【営業収益】



【営業利益】



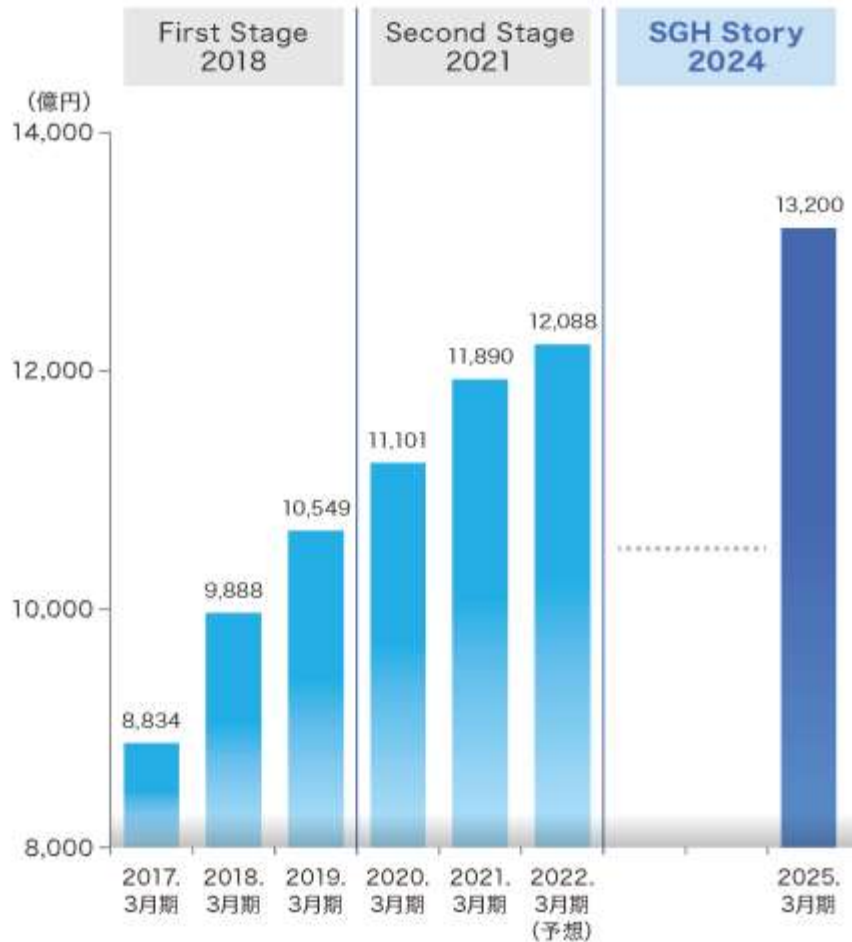
※億円未満切り捨て

※2022年3月期の予想は、2022年1月28日に開示した業績予想に基づいて算出

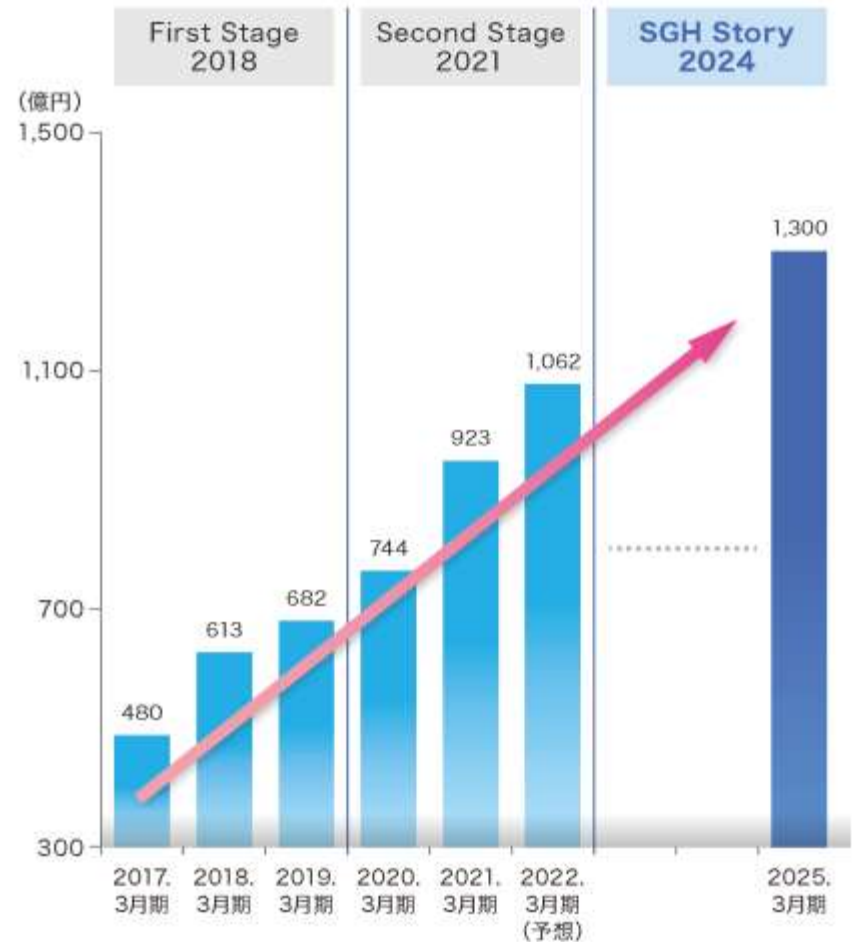
新中期経営計画

■ エクスポランカを除いた業績

【営業収益】



【営業利益】



※億円未満切り捨て

※2022年3月期の予想は、2022年1月28日に開示した業績予想に基づいて算出

新中期経営計画 投資計画

■ 3力年の投資計画

- ▶▶ 宅配便の市場成長を見据えた中継センター構想
- ▶▶ 軽自動車をはじめとしたEV車両の導入開始



投資総額(3力年累計) (億円)	2,150
施設投資	1,450
車両投資	350
IT投資	250
その他	100

※億円未満切り捨て

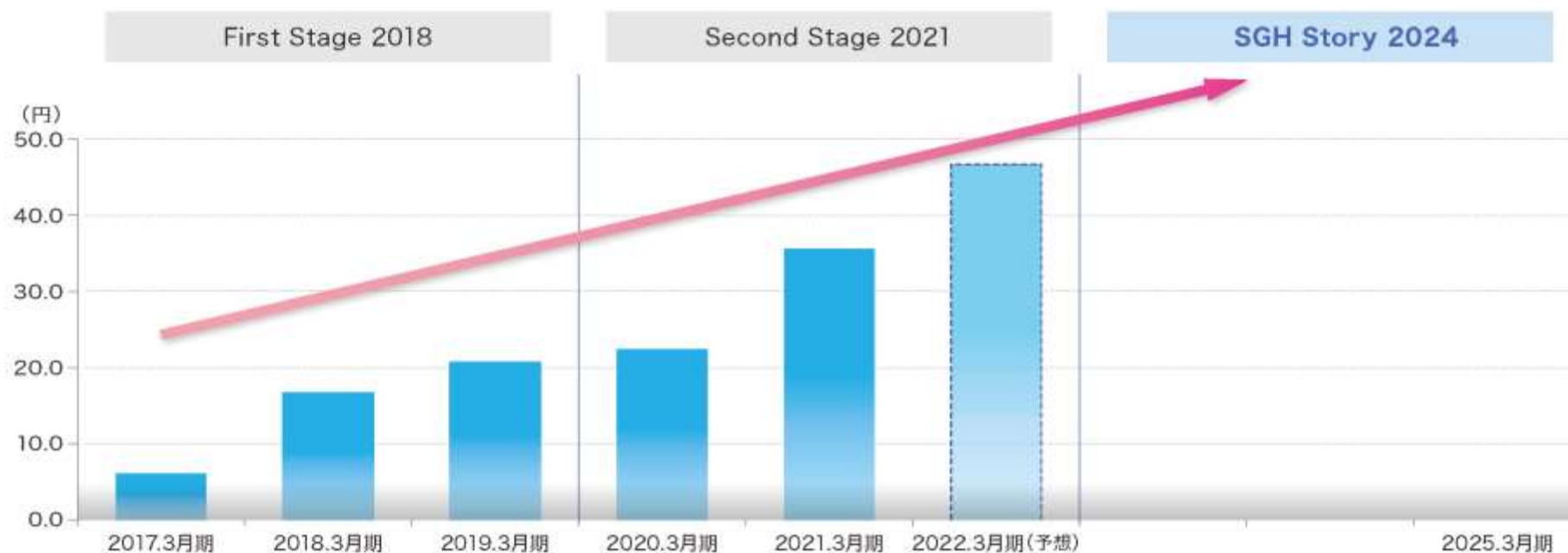
新中期経営計画 配当方針

■ 配当方針

【基本方針】

- ▶ 将来の事業展開と経営体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続すること
- ▶ 連結配当性向30%以上・前年からの増配を目指す

1株当たり配当金の推移



※当社は、2017年9月21日付で普通株式1株につき3株の株式分割、2020年11月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。

2017年3月期の期首にいずれの株式分割も行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」「1株当たり純資産」「1株当たり配当金」の額を記載しています。

※2021年3月期は1株当たりの5円の特別配当を含みます。

Chapter. **1**

02 - 08

中期経営計画「Second Stage 2021」振り返り

Chapter. **2**

10 - 14

SGホールディングスグループ新長期ビジョン

Chapter. **3**

16 - 32

新中期経営計画「SGH Story 2024」

Chapter. **4**

34

参考資料

参考資料

		2022年3月期 着地予想	2025年3月期 計画	2022年3月期 対比
デリバリー事業に おける取扱個数・単価	個数 (億個)	14.1	14.5	103%
	単価 (円)	648	648	100%
TMS (億円)		1,000	1,700	170%



ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス株式会社および当社グループ（個別に又は総称して、以下「当社」または「SgH」といいます）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述または前提（仮定）は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動又は個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、eコマース市場の低成長、(株)日立物流との資本業務提携のシナジーの未実現やディスシナジーの発現、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付（またはそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。